



CAT共同利用システムにおける 端末価格低廉化に向けた取り組み

2020年11月17日

日本クレジットカード協会



JCCAの取り組み

- JCCAでは、共同利用端末市場へ新たな端末ベンダーの参入を促し、端末価格の低廉化を目指すため、昨年より検討を行い、本年2月～3月にかけてルール緩和を実施しています。
- また、更なる低廉化を目指し、ペーパーレス化、プリンタレス端末の実現に向けた検討も行っています。

ルール緩和項目

項目	内容
ソフトPINの許容	IC取引用PINパッドは物理PINパッドを付帯させることを必須としていたが、液晶パネルに表示させるソフトPIN方式も許容する。
マニュアル入力機能の任意化	売上取消においてカード番号をマニュアルで入力できるよう必須化しているが、任意化により取消時もカード読み取りを必須とすることを許容する。
磁気リーダー機能の見直し	JIS I（国際仕様、裏面）、JIS II（国内仕様、表面）の両面の磁気を読み取れる機能を必須としているが、JIS I のみの読み取りも許容する。
取引履歴データの保存方法の見直し	取消処理の迅速化、二重取消防止等を目的として、日計処理までは取引を端末内に保存することを必須としているが、端末外での保存も許容する。
売上付随機能の見直し	売上以外のカード有効性確認等の機能装備を必須としているが、売上計上のみ、一括払いのみも許容する。
支払方法設定の見直し	端末に接続しているACQごとの支払種別情報を端末内で保存し、取扱可能かを制御することを必須としているが、端末設置会社の支払種別情報のみを許容する。